

ふるさと納税アンバサダー義ノ富士関が大相撲1月場所で大活躍

昨年12月に開催された大相撲南阿蘇場所で、村ふるさと納税アンバサダーに就任した県出身力士の義ノ富士関が、1月場所で横綱豊昇龍関と大の里関に勝利する大活躍を見せました。

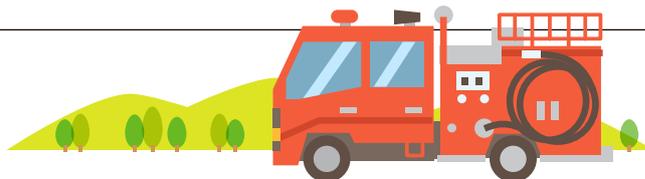
1月場所では、ふるさと納税PRの一環として、村から義ノ富士関の取組みに懸賞旗を掲出し、義ノ富士関は8勝7敗と勝ち越し、初の殊勲賞を受賞しました。

今後の益々の躍進と三役昇格に期待が集まります。



村から掲出された懸賞旗

なんでも 南部分署



春が近づき野焼きを行う時期になりました。近年では野焼き中の事故が多く発生しています。火入れを行う際、次のことに留意し、事故や怪我のないように努めてください。

- リーダーは全体を管理し、情報を共有する。
 - 当日の気象情報（乾燥注意報など）を確認する。
 - 参加者（自分自身）の体調を把握する。
 - 参加者同士で行程を把握しておく。
 - 参加者の連絡を密にする。（着火時、飛火時の声掛けを行う。火の勢いが強くなると声のみでは聞こえないことがあるため）
 - 火着け前の尾根の上には登らない。（炎の駆け上がりがあるため）
 - 火を着けると突風が起きたり、風向きが変わったりすることを念頭に置いておく。
 - 常に「逃げ道」を考えておく。
 - ジェットシューターを有効に配置する。
 - 化学繊維などの燃えやすい服は避け、帽子・手袋・ゴーグルなどを着用する。
- その他にも火災防御に努めるよう、皆様のご協力をお願いします。

〈問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL0967(62)9034 火事・救急 119

ハートがたくさんの村づくり

差別のない、人への思いやりを大切に、明るい南阿蘇村をつくりましょう。

Vol.238

障がいについて考えよう

私たちの身の回りには、さまざまな個性や特性、背景を持つ人が暮らしています。その中には、身体や知的、精神などに障がいのある人もいます。

障がいは、病気や事故、あるいは年齢を重ねることにより発生する場合もあり、誰にでも生じる可能性があるものです。

また、障がいの症状や程度は個人ごとに違い、見た目ではわからないものも多くあります。

障がいのある人が生活の中で困りごとを感じる原因は、障がいそのものではなく、周囲の理解や配慮が足りないことにある場合も少なくありません。

たとえば

- ゆっくり話してもらえると助かる
- 音や光に強い刺激を感じやすい
- 段差や人混みが大きな負担になる

このようにさまざまなケースがあることを知り、身の回りの人のことを少し気にかけるだけで、暮らしやすさは大きく変わります。

特別なことをする必要はありません。相手の立場を想像し、「困っていそうだな」と感じたときに、声をかける勇気や、見守る思いやりが人権を大切にする第一歩になります。

村民みんなで「ハートがたくさんの村」をつくりましょう。 総務課 人権政策係 TEL0967(67)1111